

III. 研究用システム

今回の研究は、異なる訓練施設間の指導員の協調作業によって教材作成を行い、その作成過程においてどのようなシステムによる支援が必要であるかを現状の中から見だし、今後のシステム構築の際の基礎資料とするために行ったものである。そのため、ネットワーク及び設備等は現有のものを利用することとして行った。幸いにも雇用促進事業団の指導員は、職業能力開発大学の情報工学科が開設するUITnetに加入し活用している実績があること、さらに各職業能力開発施設には指導員が教材作成用に利用可能なパソコンがあることから、パソコン通信を中心とした教材開発が可能であった。以下に具体的システムについて説明する。

1. システムの概要

(1) 通信回線

UITnetは、利用できる通信回線が数種あり、今回利用したものは次の3種類である。施設のおかれている環境、混雑状態、通信する情報量等によってこれらを使い分けた。

① 公衆回線網

通常のNTTの公衆回線を利用して直接ホスト局へアクセスするもので、ホスト側のモデムが9600bpsの通信速度に対応している。

② VAN（付加価値通信網）

F社が運用するVANのFENICS網を利用してアクセスする方法で、端末のパソコンからFENICSへの入口であるアクセスポイントまでは、公衆回線で接続しアクセスポイントからホスト局までは専用線で接続する。利用者は、アクセスポイントまでの電話料金を負担すればよいので通信費を節約することが可能である。通信速度は、2400bpsである。

③ 職業能力開発大学の内線

大学の内線電話を利用して直接ホストにアクセスするもので、通信速度は、9600bpsに対応している。

(2) ハード及びソフト

今回は、当センターと5カ所の職業能力開発施設の職業訓練指導員によって行われたが、各施設の準備できる設備の違いにより同一の仕様にはできなかったが、基本的にPC9800シリーズのパソコン、9800bps対応モデム及びソフトウェアを統一することができた。

ソフトウェアは、ワープロソフトと通信ソフトを同時に使用できるようにしたものを使用した。既に使いなれているものについてはそのまま使用した場合もあった。

③ UITnet

UITnetには、次のサービスがありグループウェアとして使用する場合に支援可能な業務内容を想定した。

***** トップ・メニュー *****

- | | |
|--------------|----------|
| 1. サービス案内 | 2. フォーラム |
| 3. 掲示板 | 4. メール |
| 5. データ・ベース | 6. チャット |
| E. UITnetの終了 | |

① メール

これは、郵便の手紙に相当するもので、主に会員どうしの個人的な連絡に使用するものである。協調作業では、会議開催前後の連絡調整に使用可能である。

② 掲示板

これは、諸機関から有益な情報を会員に提供するものであり、能開大、研修研究センター、事業団本部、労働省等の情報が提供されている。

協調作業では、会議内容の広報に使用可能である。

③ フォーラム

これは電子会議とよばれているもので会員が互いに意見を交換するものである。協調作業では、違う場所違う時間型意見調整に使用可能である。

④ データベース

これは、ホストシステムに蓄積された情報を提供するものであり、フリーウェアソフト、自作教材情報等が蓄積されている。

協調作業では、知識の共有に使用可能である。

⑤ チャット

これは、オンラインでキーボードから入力することによって会員どうしで会話をするものである。協調作業では、違う場所同じ時間型の意見調整に使用可能である。

2. UITnetの具体的使用領域

今回のグループウェアは、指導員の多忙な勤務体制を考慮すると同時刻に連絡調整を取ることが困難であり、違う場所違う時間型の意見調整が必要になると思われた。そのためフォーラムによる意見交換を中心に使用し、メールによる個人への連絡調整を補完的に使用するものとした。

(1) フォーラムの利用

UITnetのフォーラムには、以下のようなメニューがあるが今回は各種委員会を利用することとした。

フォーラム・メニュー

- 1. 技術Q&A 2. 事務職Q&A 3. 雇用センタ業務Q&A 4. テーマ別フォーラム
- 5. 指導員研修関係 6. 施設別フォーラム 7. その他の話題 8. 各種委員会
- T. トップ・メニュー

この委員会の中に教材作成のための委員会を2つ（一太郎Ver 5、油圧技術）とこの研究のための委員会を1つ設けた。これらのフォーラムは、今回初めてのケースであるため委員の習熟、委員会の進行を考慮し、委員だけが参加できるものとした。具体的には、一般ユーザの参照及び書き込みを禁止し、さらに委員会の存在も知ることのできない形のものとした。

A210	グループウェアによる教材作成委員会	(0/ 37)
A210B01	一太郎5教材作成分科会	(0/ 31)
A210B02	油圧教材作成分科会	(0/ 64)

[フォーラム選択メニュー]

(改行、未読 番号、フォーラム参加(例 A100) 1. フォーラム一覧)
(2. 会員検索 3. 環境設定 T. トップ・メニュー E. フォーラム・メニュー)

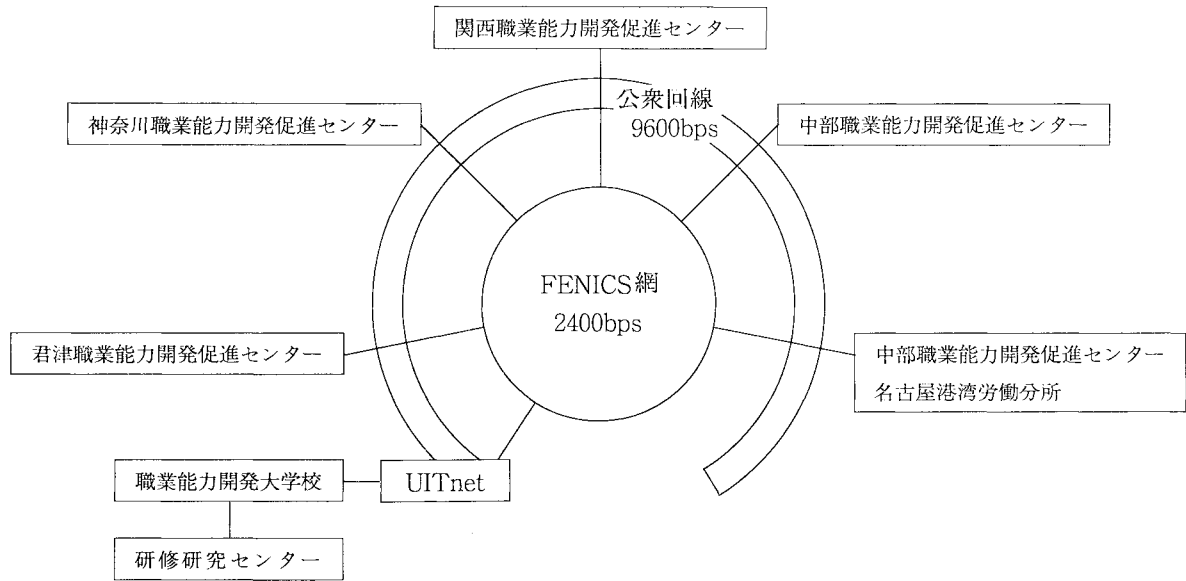
また、このフォーラム及びメールに意見等をアップロードする場合は、基本的にテキスト形式としオンラインで内容を確認できるものとした。

(2) データの転送方法

前出のとおりUITnetには、数種類の回線があり通信速度も通信モデムの関係で2種類を選択することが可能である。これらの選択は、データ量、通信速度、通信料金等の関係で決定される場所であるが、多忙な委員の時間的なストレスと通信回線の混雑状態で選択されることも想定されるので、柔軟性を持たせたものとした。

基本的には、情報量が少ないテキスト情報でオンライン状態が長くなる場合は、料金の低廉なFENICS網を利用することとし、情報量の多いファイルの転送であれば料金より通信時間を優先し公衆回線を利用した9600bpsによるものとした。ただし、9600bpsの対応回線は、1回線しかなく混雑状況によっては自由に選択できるものではなかった。

システムの構成図



UITnet

- 1.
- 2. フォーラム — 1.
- 3. — 2.
- 4. メール — .
- 5. — .
- 6. チャット — 8. 各種委員会 —
- A210
- A210B01
- A210B02